

2 第 2 次東松島市国土強靱化地域計画(案)に対するパブリック・コメントの結果について(報告)

- 1 募集期間 令和 8 年 2 月 10 日(火)から 3 月 11 日(水)まで
- 2 募集方法 直接持参、郵送、FAX、電子メールによる提出
- 3 提出人数 1 人
- 4 意見件数 13 件
- 5 意見及び市の考え方

No.	意見	市の考え方
1	提出用紙に「東松島市」「郵便番号」の記載がない。不適切な記載と考えるが説明を求めます。	記載に不備があったことについてお詫びいたします。
2	市報 2 月号記載の提出期限(2 月末日)と提出用紙記載の提出期限(3/11)が異なるが何故か。	市報の提出期限の表記に誤りがありました。お詫びいたします。
3	【意見箇所 P2】 「計画の位置づけ」の図は本計画の内容と整合していないため見直していただきたい。	「計画の位置づけ」の(1)市総合計画及び各種計画等との関係・(2)基本計画及び地域計画との関係及び図に関しましては、いただいたご意見を踏まえ、内容を確認し適正化いたします。
4	【意見箇所 P2】 「(2)基本計画及び地域計画との関係」でいう地域計画は県の地域計画と市の地域計画のどちらか。	
5	【意見箇所 P2】 「本計画は、基本法第 14 条に基づき策定された基本計画及び県計画(以下「国及び県計画」という。)との調和が保たれた内容とします。」について、基本計画が基本法第 14 条に基づき策定されたように読める。	
6	【意見箇所 P5】 国の基本計画では地震による倒壊と火災を別個にしているが、本計画で	地震発生時には建物倒壊と火災が発生し、被害が複合化することが想定されるため、倒壊と火災をまとめています。

	は1-1でまとめているが理由を説明いただきたい。	
7	<p>【意見箇所 P6】</p> <p>リスクシナリオ7-2・「有害物質の大規模拡散・流出」について国の計画は「有害物質の大規模拡散・流出による国土の荒廃」となっていることから、本計画では被害の程度によらず、大規模拡散・流出自体が起きてはならない最悪の事態であると位置づけが変更されているが、間違いはないか。もし大規模拡散・流出自体を防ぐ場合、本計画にある監視では検知された時点で流出しているため対策が不十分と考える。</p>	<p>国の「有害物質の大規模拡散・流出による国土の荒廃」と本計画の「有害物質の大規模拡散・流出」は、基本的な考え方については相違がないものとしており、起きてはならない最悪の事態であると位置づけが変更したものではありませんが、リスクシナリオについては国の計画に合わせ修正します。</p>
8	<p>【意見箇所 P51】</p> <p>リスクシナリオ8-6・連携先の金融機関や商工会の参加企業等が被害を受け倒産等により対応できないことが想定されるので、市独自の具体的な対応策を検討いただきたい。</p>	<p>いただいたご意見は関係部署と共有しました。現時点で市は県と連携し国の優遇税制や金融支援補助金の支援等の普及広報をすることとしております。市独自の対応策は今後の検討事項といたします。</p>
9	<p>【意見箇所 P33】</p> <p>リスクシナリオ5-1・脆弱性評価結果は評価ではなく対応方針になっている。施策分野と推進方針が「情報収集に努めます。」であり推進になっていない。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、内容を確認し適正化いたします。</p>
10	<p>施策分野5-2等において、陸上自衛隊とは多賀城駐屯地ではなく第22即応機動連隊との対応で航空自衛隊の松島基地に対して基地ではなく部隊のレベルになっているのはなぜでしょう。</p>	<p>災害派遣の担当部隊の表記とさせていただいております。あわせて、航空自衛隊松島基地については、航空自衛隊第4航空団と修正しました。</p>
11	<p>【意見箇所 P27】</p> <p>リスクシナリオ2-5・脆弱性評価結果で「一時的な仮埋葬地の確保」とあるが「施策分野と推進方針」は火葬に関する言及で埋葬についての言及がない。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、内容を確認し適正化いたします。</p>
12	<p>【意見箇所 P55】</p>	<p>本計画は、令和3年6月に策定した計画を踏まえた計画としております。</p>

	PDCA サイクルの確立について、本計画の前の地域計画の CHECK ,ACTION に関する言及がなく、本計画が前の地域計画を踏まえた PLAN になっているかどうか不明。	
13	【意見箇所 P55】 市民・企業との協働について、後段の「地域防災力の強化に向けて～」の内容が「共助」に関することのみで、前段の「自助」に関する言及がない。	いただいたご意見を踏まえ、内容を確認し適正化いたします。

「意見」の一部については、趣旨や意見の方向性を尊重し整理編集を行っています。